

えほん の



アリス

作：ルイス・キャロル 絵：柊なつの

訳：大久保ゆう

えほんのアリス

ルイス・キャロル さく

柊なつ の え

おおくぼ ゆう やく

1 しろうさぎ

むかしむかし アリスという おんなのこが いてね、 とっても へんてこな ゆめを みたんだ。

いったい どんな ゆめだったか、 ききたい？



さあて、これが 最初の ばめん。 しろうさぎが すぐそばを おおあわてで はしっていくところ、 アリスと すれちがいざま あしを とめて ポケットの とけいを とりだしてね。

そんなの おもしろくないって？ よく みてごらんよ、 ウサギが とけいをポケットに 入れて もちあるいてるんだよ？ そりゃあ ウサギだって とけいをもつなら ポケットに 入れるってもんさ。 くちに 入れたって もちはこべないしね —— それに はしりまわるんなら、 てが たりなくなるし。

あと おめめが あかくない？（しろウサギって みんな おめめが あかいとおもうんだけど。） みみも あかい、 きている うわぎは すてきな ちやいろ、 それにほら ポケットから あかい ハンカチが のぞいてる。 ほかにも あおの ネクタイやら きいろの チョッキとか、 ほんとに とも おしゃれで。

「やんぬるかな！」と ウサギさん。「ちこくで おじゃる！」 いったい どこへ ちこくしそうなのかな？

うん、 それはね ごぜんさまの ところなんだ。（もうちょっとしたら だいどころにいる そのひとの えが でてくるからね。） ごぜんさまはね いつも いらいらしてる おばさまのこと。 ウサギさんは またせたりしたら ひどく しかられるって おもってね。 かわいそうに これでもかかってくらい びくびく。（どんなに ぶるぶるしてたか わかる？ ちょっと ほんを ゆすってごらん、 みぎひだりに。 ほら、 ぶるぶるしてる。） だってね ウサギさん ばつとして くびを ちょんぎられるかもしれないんだよ。 ハートの クイーンが いつも やることなんだけど、 はらを たてたら ちょきん（さしえは また あとでね）。 といっても そのひと いつも ちょんぎれって いいつけるだけで、 そうなると おもいこんでるんだけど じつは だあれも そんなこと しない。

はてさて、 しろウサギが はしりぬけていったんだけど、 アリスは そのさきがきになってね。 だから ついてったんだ。 で、 はしって はしっていると いきなり ウサギあなに おっこちちゃって。





ずっと ずーっと おちつづけてね。ぴゅーうーうーうー、このまま せかいを まっすぐ つきぬけて、うらがわに でちゃうんじゃないかって アリスは そんな きがしてきて！

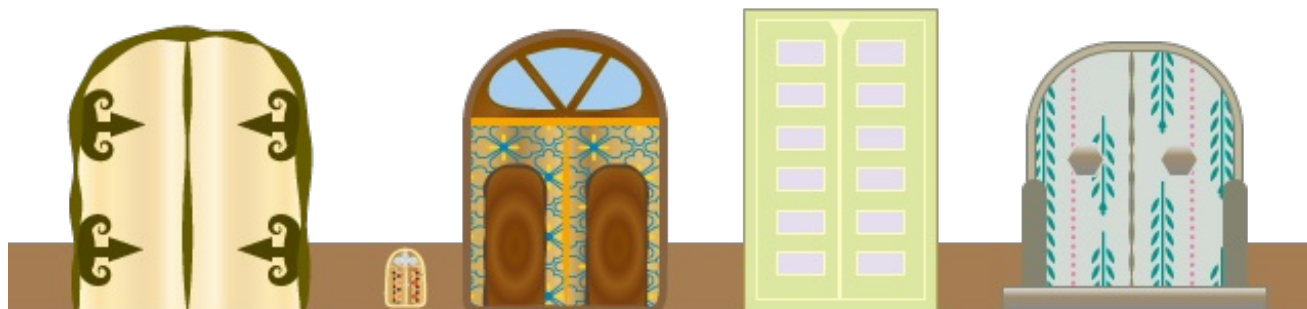
ふかい ふかい いどみたいなのに おみずは ぜんぜん なくって。こんなところへ ほんとおちちゃったら どんなひとだって きっと しんじやう。でもほら ゆめのなかだから おちたって けがひとつ ない。だって おちてると おもってるあいだも ほんとは よこになって なんのこともなく ぐっすり ねむってる だけなんだから！

それでも いつかは あなのそこに たどりつくわけで、アリスは うずたかく つまれた おちばと えだのうえへ どすん。けがひとつ なく ぴよんと おきあがると また ウサギのあとを おいかけたんだ。

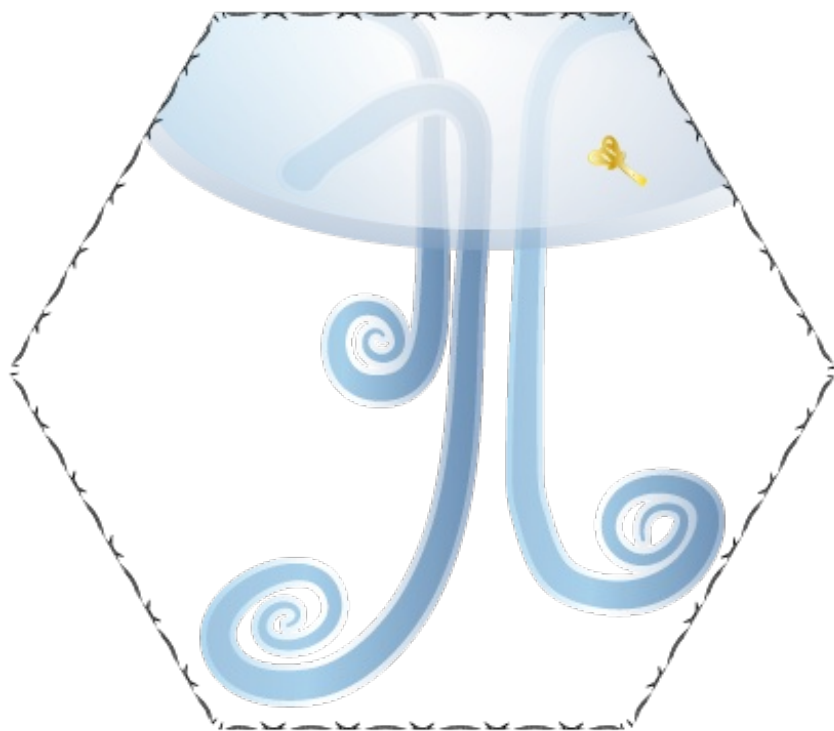
こうして アリスの へんてこな ゆめが はじまったってわけ。 こんど しろウサギを みかけたらね、 アリスちゃんみたく へんてこな ゆめを みてみたら いいんじゃないかな。

2 アリス おっきくなりすぎ

というわけで アリスは ウサギあなを おっこちたあと じめんのなかを えんえん はしってたんだけど、 きがついたら いきなり おおきな ひろまに いてね、 まわりに ぐるりと ドアが いっぱい。



ところが どのドアも かぎが かかってて。 てことは かわいそうに アリスは ひろまから であられない。 だから なんだか かなしくなってきたね。



それでも しばらくしてから テーブルのそばに いて。 ぜんぶ ガラスで できていて さんぼんあし (さしえでは 2ぼんが はっきり、 のこりの 1ぼんが ちらっと みえてるよね、 わかる?)、 で そのテーブルのうえに ちっちゃな かぎが あった! ひろまを ぐるりと まわって、 これで ドアが どれか あかないか ためしてみたんだけど。

かわいそうな アリス! そのかぎ どのドアも ひらけなくって。 でも さいごに やってきた ちっちゃな ドア、 するともう うれしいのなんの、 かぎが ぴったり あったんだ!

そのちーっちゃな ドアを あけて、 しゃがみこんで なかを のぞきこんだんだけど、 なにが みえたとおもう? もう とーっても すてきな おにわで! そこに いくたくって いくたくって! なのに ドアが ちっちゃすぎるんだ。 から

だを おしこんでも とてもむりで。 きみが ねずみの すあなに はいれないのと おんなじこと！



かわいそうに アリスちゃんは しっかり とじまりして、 かぎを テーブルにもどしてね。 すると さっきまで なかったものがあるってことに きがついて（もういちど さしえを みてね）、 これ いったい なんだと おもう？ こびんだよね、 ラベルが ついていて そこには 「ノンデ」の もじ。

そんなわけで くちを つけてみる。 すると とっても おいしくて、 あらためて いっきのみ。 そのあと もう へんてこなことになってさ！ おもっても みないことだよ。 ふふ、 じつはね。 アリスが ちいさく ちいさくなっていて、 さいごには ちっちゃな おにんぎょうさんくらいの おおきさになったんだ！

そこで ひとりごと。「あら このおおきさなら ちいさな あのドアも うまく とおりぬけられてよ！」ってことで はしりだす。 でもね たどりついた ドアは あかないわけで、 かぎは テーブルのうえ、 しかも これじゃあ とどかない！ どうして しっかり とじまりなんか しちゃったんだろうね！

はてさて、 そこで また みつけたのが ちっちゃな パンケーキ。 こんどは こげあとが 「タベテ」って ことばになってて。 なので さっそく たべて ぜんぶ のみこんだ。 そのあと ど



うなったと おもう？ うん、 おもいも よらないこと！ ふふふ、 じつはね。



アリスは おっきく おっきーくなっ
て行ってね。 せなんか もとよりも た
かくって！ こどもよりも おっきく！
おとなよりも おっきく！ ぐんぐん に
よきによきと！

えを みてごらん、 こんなに の
びちゃってさ！ いったい どっちがいい
と おもう？ ネコちゃんくらいの おお
きさの ちっちゃな アリスと、 てんじ
ょうに あたまを ぶつけっぱなしの お
っきな アリス。

3 なみだまり

もしかして アリスが たのしんでるとか おもってる？ ちいさい パンケーキを たべて きづいたら とんでもなく おっきくなってたからって。 そりゃあ なんなく ガラステーブルから かぎを ひろえるし、 ちっちゃな ドアも あけられる けど。

うん そりゃあ できるとも。 でもね、 とおれないのに ドアを あけて どうなるって いうの？ ひどいってもんじゃないよ、 かわいそうに！ あたまを ゆかちかくまで ひくくすれば、 かためで なんとか のぞけるくらいなんだ！ でも できるのは それだけ。 こう おおきくなってしまうと、 すわりこんで、 むねが さけそうなくらい おおごえで なくのも むりない はなしさ。

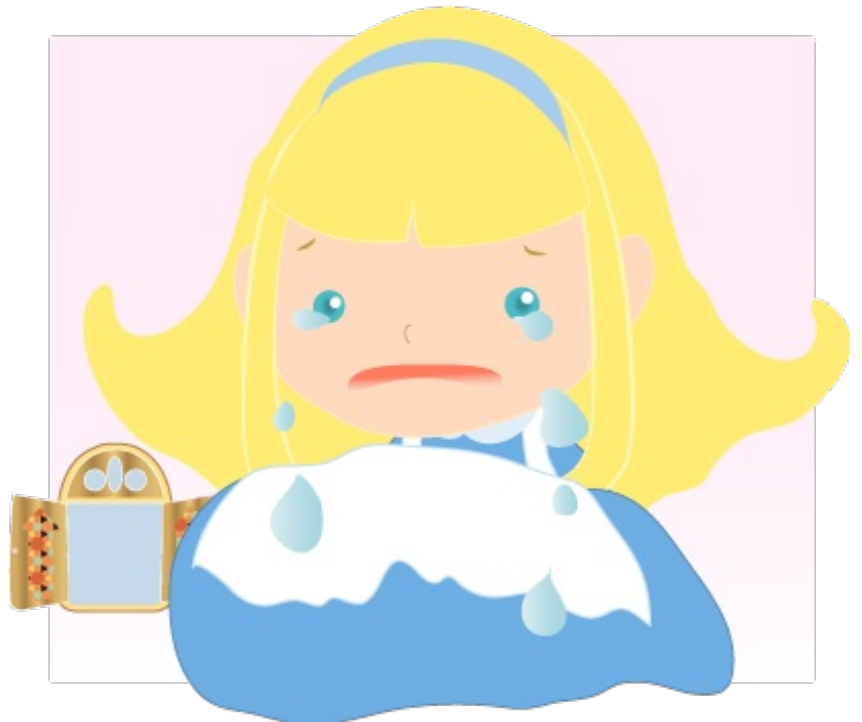
えーん えーん ないて。 そのうち なみだが ひろまの まんまんなかに こぼれていって、

かわが ながれるみたいにな っ。 あっというまに おおきな なみだまりが できて、 ひろまの はんぶんが ひたっちゃ った。

もう どうしようもないとこだ ったんだけど、 そこへなんと たまたま しろウサギが ごぜん さまのもとへ むかうところ このひろまを とおりがかったんだ。

めいっばい めかしこんでて、 かたてには しろの かわてぶくろ ひとくみ、 もう かたてには ちいさな おうぎ。 ぶつぶつ ひとり ごとを 言っててね、「あいや、 ごぜんさま、 ごぜんさま！ おまた せして かんかんだなんて いやでおじゃる！」

なのにさ アリスに めもくれずで。 そこで くちを あけて 「もし、 よろしくって ー」 なんていうと てんじょうから こえが してるみたいで。 なにせ あたまが たかーいところに あったか らね。 すると ウサギは ものすっごく おびえて。 てぶくろと おうぎを とりおとして、 ぜんそくりよくで にげてった。





そこで ほんっと へんてこなことになつて。
アリスが おうぎを とりあげて じぶんで あおぎ
だしたんだ。すると ごらんあれ、みるみる ち
いさくなって、 1ぷんも したら ネズミくらの おっきさに

！

ここで さしえを みてね。 つぎに おこつたこと もう わかるよね？ ほんと
に うみみたい、 ね？ でも まちがいなく これは さっきの なみだの いけ
—— ぜんぶ アリスのなみだで できたものなんだ！



そういうわけで アリスは いけに ぼちゃん。 ネズミも ぼちゃん。 いろん
なのが いっしょになつて およいでる。

このえの およいでる アリス、 かわいくなあい？ みなもの したあたり、 ア
リスの あおい くつした みえるよね？

でも このネズミ どうして こんなに あわてて およいで アリスから はなれ
ようとするのか。 はて そのわけは、 アリスが イヌネコについて はなしだした
からなんだ。 ネズミは いつだって イヌネコの はなしなんか いやだからね！

きみが じぶんの なみだで できた いけを およいでるとして、 そこで だれ
かが おべんきょうとか おくすりのことを はなしだしたら、 やっぱり めいっば
い およいで どこか いっちゃいたくならない？

アリスと ネズミが なみだの いけから あがると、 やっぱり ずぶぬれで。たくさんいた へんてこ いきものたちも おんなじで、 みんな いっしょに おっこちててね。 そこにいたのは ドードー（まんまえに いる おおきな とりで、つえに よっかかっているね）、 それと アヒルに インコ（アヒルの まうしろで あたまごしに みてる やつね）、 あと こどもワシ（インコの ひだりがわに いる やつ）とか そのほか いろいろ。



さてところで そのみんなだけど どうやって からだを かわかしたものが さっぱり わからなくて。 けれども ドードーが —— あたまの いい とりだから —— どーどーめぐりを するのが よろしい なんて 言ってね。 いったい なんのことだと おもう？

わからない？ だったら きみは まだまだ こどもだね！ じゃあ よおく きいてね、 すぐに ちゃんと わかるから！

まずは はしる コースを つくること。 そのかたちは まるなんだけど とりあえず ちゃんと まるになって ひとつに つながってれば なんでもいい。

とにかく やるひとは コースの あちこちに たって、 くっつきすぎなければ なんでもよくて。

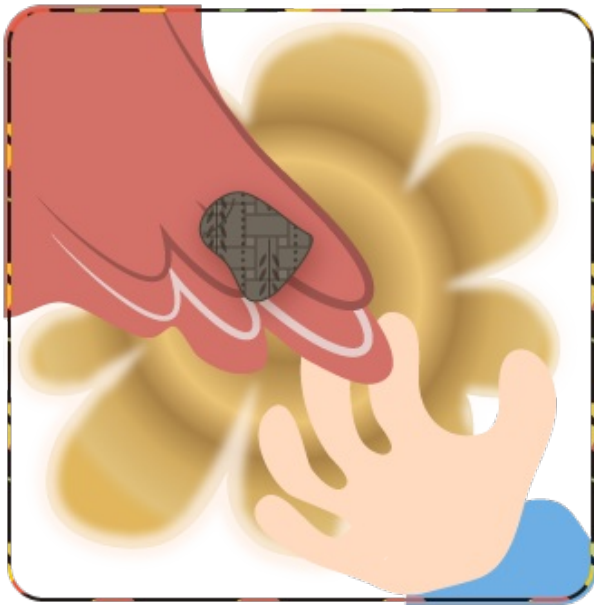
しかも 「いちについて よーいどん！」なんて かけごえも いらなくて、 みんな すきなときに はしりだせばいいし、 すきなときに やめていい。

そこにいた いきもの、 アリスと みんなは ぐるぐる はしりっぱなしで それを かわききるまで つづけたんだ。 で、 さいごに ドードーが みんなの かって いて、 みんな ごほうびが もらえることに！

もちろん アリスが ごほうびを あげる やく。 とはいえ あげるほどのものも なくてね、 たまたま ポケットに ドライフルーツが あったもんだから、 ひ とりひとつずつ みんなに わけた。 すると アリスのぶんの ごほうびが たり なくて！

そこで どうなったと おもう？ あと アリスが もってたのは、 おさいほうの ゆびぬきだけ。 ほら さしえを みて、 どうなったか わかるよね。

「こっちへ かしなされ。」って ドードーが いった。



で、 ドードーは ゆびぬきを うけと って、 また アリスに かえて、 こ んなことば。「みごとな このゆびぬきを われらより おうけとりください！」 というわけで そのばの いきものが ぱ ちぱち わーわー。

こんな へんてこな おくりものって ある？ かんがえてもみてよ、 おたんじ ょうびプレゼントを くれるってひとが、 きみの おもちゃばこのところへ い っ、 そのの きれいな おにんぎょう

を とりだして 「はい、 いいこだから このすてきな おたんじょうびプレゼント を あげよう！」なんて いうのと、 まだ もってない あたらしいものを くれる のと、 どっちが いい？

さあて つぎの おはなしは、 しろウサギの おうちで アリスが どうしたか。



おぼえてる？ ウサギが てぶくろと おうぎを おとしたときのこと。アリスの こえが そらから きこえてきたのかって びっくりしたんだよね。だから てぶくろも おうぎも ないままじゃあ そりゃあ ごぜんさまのところへも おうかがいできない。そこで ちょっとしてから さがすために ひきかえしたんだ。

ドードーと へんてこ どうぶつたちが どこか

へ いっちゃんころには、 アリスも ひとりきりで あたりを うろついててね。

で、ウサギさん どうしたと おもう？ なんと アリスを じぶんちの メイドさんと かんちがいして、 あれこれ いいつけだしたんだ！ 「メリアン！ いますぐ うちに 行って、 てぶくろと おうぎを とってくるでおじゃる！ いそぐでおじゃる！」

ひよっとすると あかい おめめは まえが あんまり みえないのかも。だって アリスと メイドさんは にてもにつかないんだよ？ それでも とっても いい こだったから、 ちっとも きをわるくせずに ぜんそくりよくで ウサギの おうちへ むかってね。

つごうよく ドアは あいてて。だって ちりんちりん やることになったら、 きっと ほんものの メリアンが ドアを あげにくるからね。 そうしたら アリスは なかに いれてもらえない。それから うんよく ほんものの メリアンには あわないまま かいだんを とことこ のぼれて。アリスが どろぼうだって つかまえられたら たいへんだからね！

あがって すすんで ウサギの おへやに はいると、 そのの テーブルのうえに てぶくろが おいてあったから、 さっと とって でていこうとした そのとき、 たまたま めにはいったんだ。 テーブルのうえの こびんが。 もちろん あのことは 「ノンデ！」って ラベルつき。 そりゃあ アリスも のむよね！



まったく、 よかった よかった。 じゃない？ だって ここで のまなかったら、 これからはなす すてきな おはなしも おこらなかったんだから。 そうなると やっぱり ざんねんだよね？

もう アリスの おはなしにも なれてきたから、 つぎに どうなるか わかるよね？ むりなら きいてて。

おっきく おっきーくなったんだ。 ほんの あっというまに おへやは アリスでぎゅうぎゅう、 まるっこい びんに ジャムが ぎっしり つまってる、 ちょうど ああいう かんじ！ てんじょうまで ずっと アリスで、 おへやの どのすみにも アリス！

ドアは うちがわに ひらくものだったから、 やっぱり どうやっても あくすきまがないわけで。 そのとき ウサギが まちくたびれて じぶんで てぶくろを とりにかえてきたんだけど、 もちろん なかに はいれなくって。



で、 どうしたと おもう？ (さあて ここで さしえ。) トカゲの ビルを おうちの やねに のぼらせて、 えんとつを おりてけていいつけたんだ。 ところが たまたま アリスの かたあしが だんろに つっこんでね。 ビルが えんとつを おりてくる ものおとが したとき、

かるく ちょこんと けりあげちゃったから、 ビルは はじきとばされて、 おそらへ ぴょーんと でっちゃったんだ。

かわいそうな ビルくん！ そう おもわない？ きっと ものすごく ふるえてたよ！



えっ、そんなワンコちゃんには みえないって？ でもほら、 いまは アリスの
ほうが ちっちゃくなっちゃったから。 そういうわけで ワンコが おっきく み
える。 しろうさぎの おうちで みつけた ちいさな ふしぎな パンケーキ、 そ
れを ひつつ たべた アリスは ぐんぐん ちいさくなって そのまま ドアを と
おれるようになってね。 そうでないと もう おうちから そとへ だれられないとこ
ろだった。 かわいそう、 じゃない？ だって これから はなす へんてこな こ
となんて ゆめにも おもってなかったんだもん。

とにかく ほんとは ちいさな ワンコ、 ね。 かわいい ペットじゃ なあ？
なら ちょっと このようすを みて、 アリスの さしだした ぼうきれに ほえ
てるよね！ ほら アリスも ちょっと こわがってる、 ずーっと。 だって でっ
かい アザミの かげに かくれてるし、 こっちに とびかかってくると いけない
からね。 そうなったら 4とうだての ばしゃに ひかれたのと おんなじくらい
アリスが ひどいことに なっちゃう！

ペットの ワンコちゃん きみの おうちでも かつてる？ いるなら いつも イ
ヌに やさしく、 ちゃんとした えさを あげると いいんだけど。

むかしむかし あるところに ぼくの しりあいの こどもたちが おりました。
せのたけは きみと おんなじくらい。 ペットに ワンコを かっておりました。 な
まえは ダッシュ。 これは そのこどもたちから きいた、 たんじょうびの ごち
そうを あげたときの おはなし。

「してる？ あるひね、 そういえば きょう ダッシュの たんじょうびだって
なって、 いったの。『ダッシュに たんじょうびの ごちそうを あげようよ。
あたしたちも たんじょうびに もらうでしょお？』 でね、 いっぱい かんがえて
『じゃあ なにが いちばん いいかな、 じぶんたちの たんじょうびなら？』
でね、 また いっぱい かんがえて さいごに みんなで ひとつに きめたの。
『じゃあ オートミールの おかゆだね、 ぜったい！』 だからね、 ダッシュも
ぜったい きにいるって おもったの。

おてつだいさんの ところに いて、 ひとさら おかゆを つくってって いて
ね、 それから ダッシュを おうちに よんできて いったの。『さあ ダッシュ
、 おたんじょうびの ごちそう あげる！』 ダッシュが よろこんで とびはねる
って おもったのに、 なのに かみついてきて！

だから まえに おさらを おいて、 いったの。『もう ダッシュ、 がつつかな
いの！ いいこだから おとなしく たべて！』

で、 ダッシュ ペろペろって したを つけたんだけど、 そうしたら、 その、
とんでもない かおに なっちゃって！ でね、 あのね、 だいきらいだって、
もう ちっとだって たべるもんかって！ だから あたしたち スプーンで ぜんぶ
のどに ながしいれなきゃいけなくって！」

アリスも この ワンコに おかゆを あげるのかな？ するとは おもえないけ
どね。 そんなの どこにも もってなかったし、 さしえにも おさらが ないしね

。

ワンコから にげだしたあと、 アリスが どうなったか しりたい？ ほら じゃれるには ほんと おおきすぎる どうぶつだったからね（たとえば カバの こども。 いっしょに たのしく じゃられる？ むりだよ、 きつと でっかい あしで ずどんと パンケーキみたく ペしゃんこに されちゃう！）。 だから きづかれずに にげだせたとき アリスは ほっとしたんだ。



で、 あちこち うろついたんだけど、 なにを したら もとの おおきさに もどれるのか さっぱりで。 そりゃあ なにかを のみくい すれば いいんだろうけど。 これまでも そうだったしね。 でも それが なんなのか おもいも つかなくって。

そんなとき ふと あらわれたのが でっかい キノコ。 せたけが たかくて つまさきだち しないと てっぺんに あるものなんて みえなくって。 で なにが みえたと おもう？ こんな の ぜったいに いいあてらんないね！

なんと おっきな あおムシ。

いまから はじまるのが アリスと あおムシの おはなしなんだけど、 まずは このさしえを よく みてね。



あおムシの まんまえに おいてある へんてこなのは みずギセル。 けむりを すうために つかうんだ。 ながい くだを とおって けむりが、 へびみたく う

ねうね やってくるってわけ。

で、 あおムシの ながっぱな、 しゃくれあご、 わかる？ というより、 はなみみたいな あごみみたいなもの、 が ただしいかな？ ほんとは あしのうちの ふたつなんだけど。 ほら イモムシは あしが たくさん あるよね。 そのしたを みてくと どんどん ついてるし。

きっと めんどうだと おもうんだけど、 あおムシは まいばん なくなっていないか あんなに たくさん の あしを かぞえるんだって！

それに すごく めんどうだと おもうんだけど、 どのあしから うごかしたらいいか きめなきゃいけないんだってさ。 なんせ 40も 50も あしがあるから、 ちょっと あるくにしても どのあしから うごかしたらいいか きめるだけで それなりの じかんが かかって、 もう あるくどころじゃないよ！

ともかく アリスと あおムシ いったい なにを おはなししたんだろうね？

その、 アリスは いったんだ、 おおきさが いろいろ かわって もう わけがわからないって。

すると あおムシが、 ちょうど いまの おおきさ、 これを どう おもうってきいてきてね。

アリスの へんじは、 もうちょっとくらい おおきになりたい —— 8センチじゃあ あんまりな おおきさだって！（8センチを はかってみるとしたら なかゆびくらいの おおきさかな、 ほら このときの アリスが それくらい。）

そこで あおムシが おしえてくれて。 キノコの かたはしを たべると おっきくなって、 もうかたはしを たべると ちっちゃくなれるぞって。

なので アリスが ふたきれちぎって おそろおそろ くちに いれると、 まあ けっこう いいかんじの せかっこうに なんとか なれてさ！
ようやく ごぜんさまのところへ むかったんだ。



アリスが ごぜんさまのところへ うかがった おはなし、 ききたい？ ほんとおもしろい おうかがいに なってね。 きたいして いいよ。

もちろん はじまりは ドアの ノック。 でも だっれも でてこなくて。 だから じぶんで あけることに。

さあて さしえに めをやると、 なかに はいった アリスの めに とびこんだものが ちょうど わかる。



ドアが まっすぐ だいどころに つづいていてね。 ごぜんさまは おへやの まんなかに すわって あかちゃんを あやしてる。 あかちゃんは わんわん。 スープは ぐつぐつ。 コックさんが スープを まぜまぜ。 ネコ —— チェシアネコが —— にやにや、 チェシアネコは いつも そうなんだ。 アリスが はいってきたときは ぜんぶが こんなぐあい。

ごぜんさまは すてきな ぼうしと ガウンを みにつけてる、 よね？ でも ざんねんながら かおは あんまり すてきじゃあなくて。

あかちゃんは —— まあ きみだって もっと かわいいこ みたこと あるとおもうんだけど、 その、 もっと おとなしいこ、 ね。 でもね いま よおくみておいてね、 つぎ でてきたときに わかるかどうか たしかめるから！

コックは —— まあ もっと うでききの コック ひとりふたり あったことあるかもね。

でもでも きっと これより ものすごい ネコは みたこと ないはず！ だよな？ ちょっと こんなネコちゃん かってみたくない？ みどりの めが あいらしくて、 えがおも とっても かわいくて。

ごぜんさま アリスには ひどく ぶしつけで。 まあ しょうがない。 その、 じぶんの あかちゃんなのに 「ブタ！」とか よぶくらいだし。 ブタじゃない、

よね？ あと コックに アリスの くびを たたききれて いったん みたんだけど、 もちろん そんなこと

コックは しなくて。 さいごには あかちゃんを こっちに なげつけてきてさ！ だから アリスは あかちゃんを うけとめて、 つれだしたんだ。 そうするしか なかったとおもう。

というわけで おうちから はなれて、 もりを ぬけて、 かわくない そのあかちゃんを かかえて行ってね。 すごい じたばたしてたから つかまえておくのも ほんとに たいへんで。 でも さいごには ひだりあしと みぎみみを ぐっと つかめば いって きづいたんだ。

でも ふつうの あかちゃんを こんなふうにつかんでみちゃあ いけないよ、 めっ！ こんなふうにあやされたい あかちゃんなんて あんまり いないからね！

さて、 あかちゃんは ぶーぶー いろいろつけてるわけで。 だから アリスも まがおで いわなきゃいけない。「もし ブタになっちゃうんなら もう なんにもしてあげなくてよ、 いいこと！」

って おわりに かおを のぞいてみたんだけど、 いったい どんなことになってたと おもう？ さしえを ごらん、 こたえあわせ。

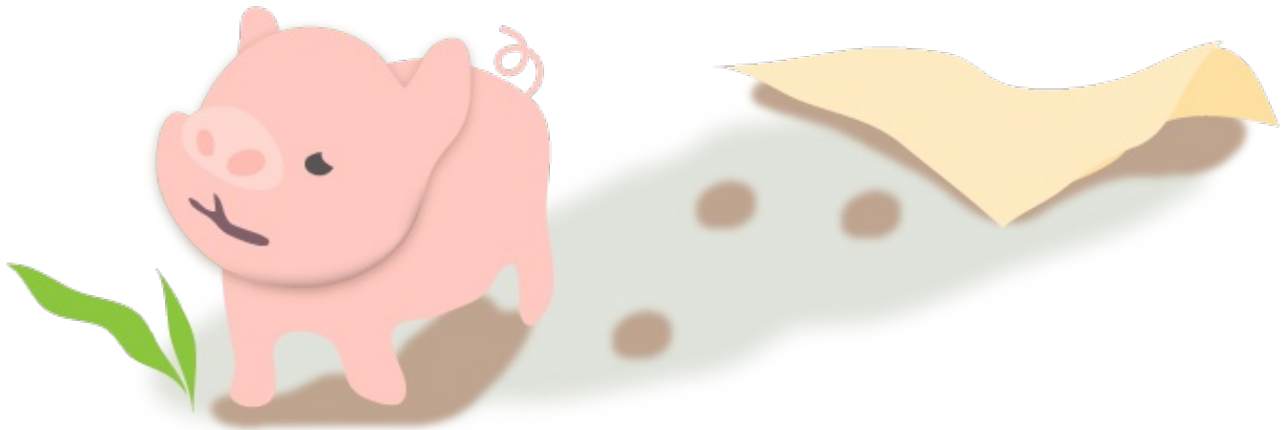
「えっ、 アリスがあやしてるの、 あのあかちゃんじゃないよ？」



ほおら、 やっぱり わかんなかった。 だから よく みておいてって いったのに！ うん、 これが あのあかちゃん。 こブタに かわっちゃったんだ！

なので、 アリスは したに おろして、 もりのなかへ はなしてね。 そこで ひとりごと。「ほんっと かわいくない あかちゃん！ でも ブタに なったら ちょっとは ましかも。」

そのとおりだと おもわない？



ひとりぼっち、ひとりぼっち！ かわいそうな アリス！ あかちゃんどころか
 ブタも もう いっしょじゃない！



そんなとき チェシアネコが あたまのう
 えの きに やどってたもんだから、 とっ
 ても うれしかったこと わかるよね。

たしかに ネコは とっても すてきな
 えがおなんだけど、 ちょっと みて、 は
 が ぎっしり！ アリス すこしだけ ひい
 てない？

うん、 まあ、 すこし。 でも やっぱ
 り ネコだって はは いるわけで。 それ
 に いらいらしてたら なるべく にやにや
 は しないしね。 だから それなりに ア
 リスも うれしくって。

アリス とっても おすまししてなあい？
 あたまを すくくと もたげて、 りょう
 てを うしろに まわして、 まるで ネコ
 に ものを おしえてるみたい。

そういえば おしえておきたいことが
 ちょっと あるんだ。 アリスと ネコの
 このさしえを みておいてね。 さあて
 へそを まげないでね、 おねがい！ ほん

の まめちしきだから！

きの そばに、 キツネノテブクロが あるの わかる？ これ、 どうして キツ
 ネノテブクロって いうか してる？ もしかして キツネと かかわりあるとか
 おもってる？ まちがい！ キツネは てぶくろ はめないよ！

もともとは 「こびとの てぶくろ」って いったんだ。 でも 「こび」って き
 つねの ばけものでも あるからね。

ここで まめちしきは おしまい。 いらいらが おさまるまで ちょっと まって
 るね。

どう？ すっかり おちついた？ もう だいじょうぶ？ くちの すみも ひん

まがってない？ じゃあ つづきを。

「チェッシャにゃん！」って、 アリスが よんでね。（ネコにしては すてきな なまえじゃなあい？）「おしえてちょうだい、 ここから どちらに いったほうが よくって？」

すると ネコは、 ぼうしやの ところへ いきたきゃ こっちの みち、 やよいウサギだったら あっちの みち、 って おしえてくれてね。「どっちも へんにや やつ！」って ネコは いうんだけど。

そのあと ネコが きえちゃって！ まるで ロウソクの ひが きえるみたいに！ まあ アリスは やよいウサギのほうへ あるきだすんだけど、 すすんでいくと また そこに ネコが いてさ！ そんなに すぐ でたり きえたりは いやだって 行ってやったんだ。

すると こんどは ネコも きえるのが すごく ゆっくりになって、 はじめが しっぽ、 さいごが にやにや。 へんてこじゃあない？ ネコが いなくなってる のに、 にやにやが あるなんて。 みてみたい？

このページの すみを めくってみたら、 にやにやを みる アリス が でてくるよ。 ネコを みてたときよりも、 ちょっとだけ びくびく してない、 かな？



これは おかしな おちゃかい。 チェシアネコと わかれたあと、 アリスは チェシアネコの おしえてくれたとおり、 やよいウサギと ぼうしやに あいにいったわけ。 みつけたとき そいつらは おおきな きのしたで おちゃかいをしていてね。 あいだには ヤマネも すわっていて。



テーブルについてたのは この3にんだけだったんだけど、 そのまわりには ずらりと ティーカップが ならんでてね。 テーブル ぜんたいは みえないけど、 ほらさしえの ぶぶんだけでも カップが 9こも あるよね、 やよいウサギの てにあるのも くわえると。

そいつが やよいウサギ。 みみが ながくて、 かみに わらが ぐちゃぐちゃからまってる。 わらが あるって あたまが おかしい しるしだからね —— なぜかは わからないけど。 ぜったいに かみのけに くくりつけちゃ だめだよ。

ひとに あいつの あたまは おかしいって おもわれるからね！

それから テーブルの はしに すてきな みどりの アームチェアが あったんだけど、それが まるで アリスの せきみたいに みえてね。 だから そこへ 行って こしを おろしたんだ。

そうして やよいウサギと ぼうしやと ながなが おはなしを して。 ヤマネは あんまり しゃべらなかつた。 ほら いつも ぐっすり ねむってる からね、 たまに ちょっと おきたりするだけで。

ねむってるぶんには やよいウサギにも ぼうしやにも つかいがってが いいんだよ、 だって あたまが まるくて ふかふかだから、 まくらみたいで。 ひじを ついても、 もたれかかっても、 きがねなく はなしを しても いいんだ。 ふつうは あたまを まくらがわりに されるのなんて いやだよな？ でも ヤマネみたく ぐっすり ねむ

ってたら、 きづかないよ。 だから きにならないんじゃないかな。

ざんねんながら アリスは のみもの たべものを すこしも もらえなくて。 でも しばらくしたら おちゃも バタートーストも ごじゆうに どうぞ ってことになって。 ただ いったい どのせきで たべたんだろうね、 そもそも おさらじたいがないし。 おさらがあるのは ぼうしやだ

けで。 いや、 きっと やよいウサギにも あったかも。 だって みんなで じゅんぐり せきを かえたら（それが このへんてこな おちゃかいの きまりだからね）、 つぎに アリスが すわるのは やよいウサギの せきだし、 そのとき ウサギが じぶんの おさらには ミルクつぼを ひっくりかえしてるって きづいたみたいだし。 きっと おさらと ミルクつぼは おっきな ティーポットの うらにかくれてたんだよ。

このぼうしやは いつも うりものの ぼうしを もちあるいていてね。 あたまに のっかっているのも そもそも うりもの。 ほら、 ねだんが ついてるよね
——「10」と 「6」—— これは 「ぎんか10まい どうか6まい」ってこと



。 こんなの へんな うりかたじゃない？ あと きれいな ネクタイをつけてない？ ほら いいかんじの きいろい ネクタイ、 あかの みずたまいり。

そいつが たちあがって アリスに ひとこと。「かみを きりたまえ！」 おおきな おせわ、 だよね？ アリスの かみって きらなきゃいけないかな？ とっても かわいらしい ながさだと —— ちょうど いい ながさだと おもうんだけど。

これが まえに おはなしした きれいな
おにわの いっかく。 ほら、 アリスは
さいごに なんとか ちいさくなれたから
、 あのちいさな ドアも ぬけられてね。
たぶん にほんあしで たった ネズミく
らいの せたけ。 なので これは もちろん
ちっちな バラの きで、 こいつら
は ちっちな にわし。

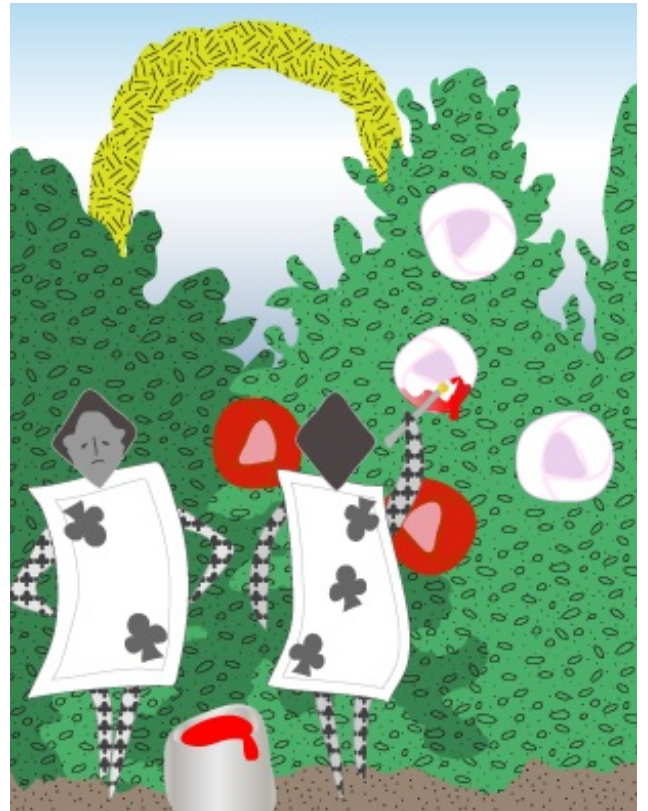
なんて おもしろい こびとさんたち！
いや、 ひと、 なのかな？ たぶん いき
てる トランプなんじゃないかな、 あたま
と てあしが ついてるから、 こびとみた
いに みえると。 で、 あかい ペンキで

なにを しているの、 かな？ と、 いうことで アリスに わけを はなした
んだ。 ハートの クイーンが そのあたりに あかい バラの きが ほしいって
いったらしいんだけど、 なのに かわいそうに このにわしくんたちは おおまち
がいを しでかして、 かわりに しろいのを うえちゃったんだ。 それで もう
びくびくしてね、 だって クイーンさま きっと はらを たてて、 みんなの く
びを ちょんぎれって いうに きまってるからね！

ものすごい こわい じょうさまで、 だれかに はらを たてると きまって
そういうんだ。「くびを はねよ！」 だれも だれかの くびを ちょんぎったり
しないんだけどね。 だって いうことなんて だれも きかないし。 でも いつも
そういうふうに いうんだ。

さあて おいつめられた このにわしたち、 どうしてみたのか わからない？ バ
ラを あかく ぬって見たんだ。 おおあわてで、 クイーンが くるまえに やっち
ゃえってね。 そのあとなら たぶん クイーンも もともと しろい きだったなん
て わからないしね。 そうなれば たぶん こびとたちも くびを ちょんぎられな
いで すむし！

ほら きに 5りんの おおきな しろバラが あるよね —— これを みんな
あかくするのは けっこう たいへんだよ！ まだ 3つと はんぶんしか おわって
ないし、 ほら、 それに せめて むだばなしで てを とめたりしなけりゃ ——



がんばろうよ、 こびとさん、 がんばってよ！ そうしないと おわらないうちに
クイーン きちやうよ！ きに しろバラが あるって しられたら どうなると

おもう？ きっと 「くびを は
ねよ！」って。 もう がんばれ
って、 おまえら！ いそげ、
いそげ！

クイーンが きちやった！
おこってない？ ああ、 かわい
そうな アリスちゃん！



ゲートボールは やったこと ある？ いろんな いろの おおきな きの ボールが あってね、 それを ころがして、 はりがねの ゲートの あいだに とおすんだ。 ながい とってつきの おおきな きづちが あって、 それで ボールを こづいて ころがすんだよ。

さあて さしえを みてごらん。 ほら アリスが ゲートボールを やってるところだよ。



「でも できてないよ、 なんか よく わかんない おおきいの かかえてるし！
ねえ、 あれじゃあ きづち もてないよ？」

うん、 あのね、 あの よく わかんない おおきいの（ほんとの なまえは フラミンゴなんだけど）、 あれが つちなんだよ！ このゲートボールでは ボールはいきた ハリネズミ —— しってる？ ハリネズミって ボールみたく まんまるになれるんだよ —— で あと つちが いきた フラミンゴって わけ！

それで アリスは ただいま ちょっと おやすみちゅう。 ひさしぶりの おともだち、 ごぜんさまと おはなしするためにね。 もちろん なくさないよう つちを わきに かかえててね。

「でも おともだちじゃないし、 あんなやつ！ あかちゃんを ブタっていうし、アリスの くびを たたききれって いったし！」

うん、 あれは ほんの じょうだん。 アリスの くびを たたききれだなんて。 あかちゃんは —— まあ ほんとに ブタだったしね！ あのえがお みてごらんよ！ ねえ、 あのくち アリスの あたまより でっかいよね。 でも あれでみえてるのは はんぶんだからね！

でも ちょっとだけ おはなししたところで、 やってきた クイーンが アリスをつれてっちゃってね。 グリフォンと ウミガメフーミに あわせるんだって。

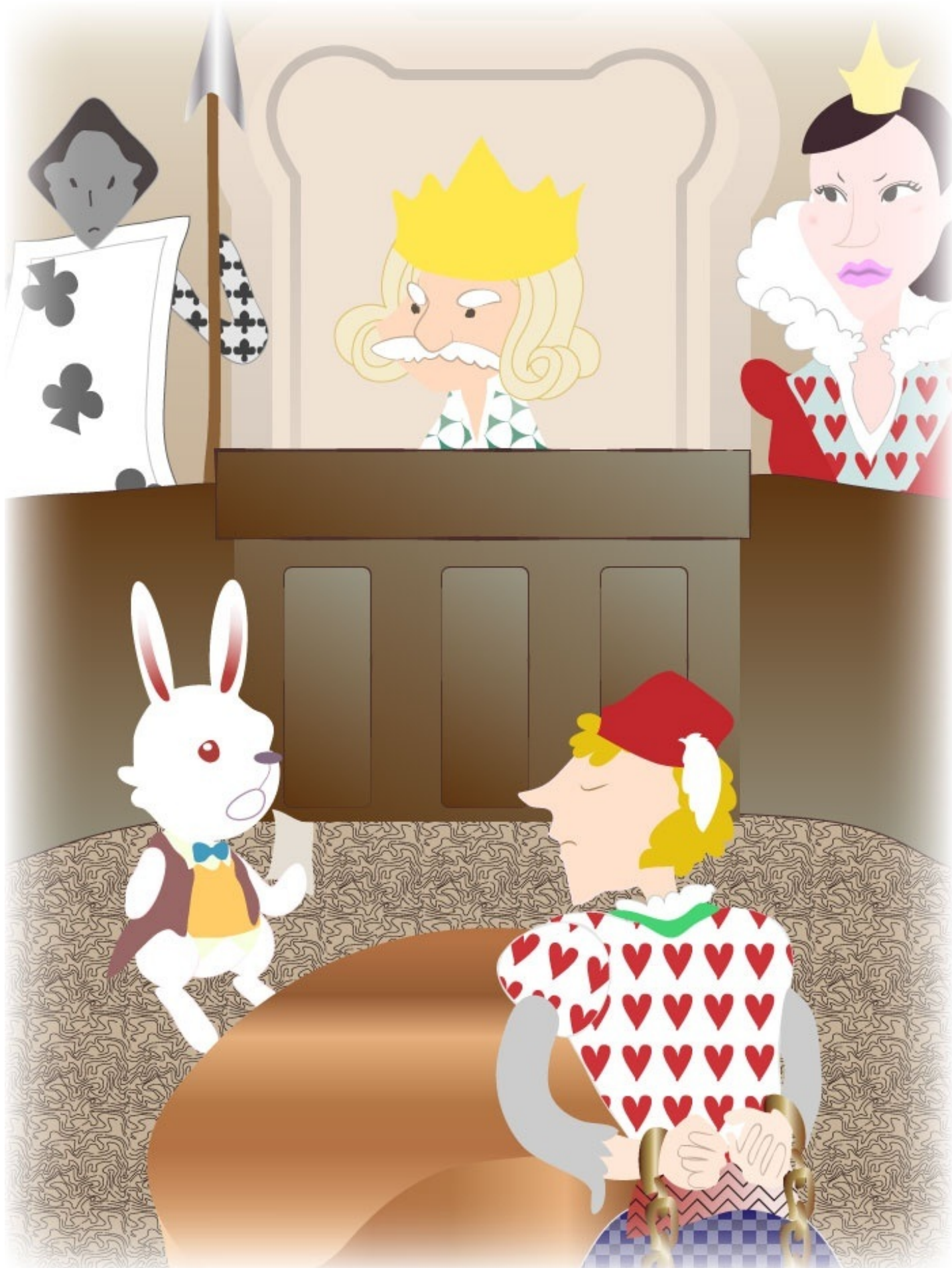
グリフォンが なにか しらないの？ えっ！ じゃあ なにを しってるの？ こいつは もんだいだ。 でもでも、 さしえを ごらん。 あかい あたま、 あかい つめに みどりの うろこ、 このいきものが グリフォン。 これで わかったね



それから そのとなりが ウミガメフーミ。 あたまが こウシなんだ。 だって ウミガメフーミの スープには こウシの あたまを つかうからね。 これで わかったね。

「でも こいつら なにしてんの、 アリスの まわりで あんなに ぐるぐる？」
えっ、 もちろん わかっていると おもってた！ エビの フォークダンスを おどってるんだよ。

グリフォンと ウミガメフーミに つぎ あったとき、 おぎょうぎよく きいてみたら、 きっと また おどってくれるよ。 ただ あんまり ちかよらせないでね。 かわいそうに アリスみたく つまさきを ふまれちゃうから。



ハートの クイーンが タルトを つくる はなし きいたこと ある？ そのあと
どうなったか いえる？

「うん、 あったりまえ！ うたが ぜんぶ おしえてくれるじゃない！

ハートの クイーンが タルトを つくる

なつの さなか いちにち かけて

ハートの ジャックが タルトを ぬすむ

かくれて こっそり ひとりじめ！」

うん そうだね、 うたは そうなる。 ところが うたが こうだからって ジャックに おしおきするとか なしですよ。 まず わるい やつとして つかまえなきゃ いけなくて、 てくびに くさりを つけて、 ハートの キングのまえに つれてって、 ちゃんとした おさばきを しなきゃね。

さあて はじめにある おおきな さしえを みれば、 このおさばきが どんなにおおごとか わかるよね。 さばくひとは キング！

キングって とっても えらい、 よね？ でも そんなに たのしくなさそう。 かつらのうえに のってる おおきな かんむりは おもそうで きゅうくつそうだしね。 でも やっぱり どっちも つけとかないと。 でないと あいつが さばくひとで キングだって みんなに わかんないしね。

で、 クイーン なんだか むすっとしてない？ テーブルのうえに あるのは タルトのおさらだけ、 いっしょうけんめい つくったのにね。 それで いたずらな ジャックを みつけて（てくびから くさり が たれてるの わかるよね？）、 おまえが わたしの つくった タルトを ぬすんだんだ、 って。 だから ちょっとくらい むすっとしてたって むりもないってわけ。

しろウサギが キングの そばに たちながら、 あのうたを よみあげてて、 そいつが どんなに いたずらな ジャックかって みんなに つたえててね。 で、 はなしあうひとが（ほら、 はこがたの ぎせきに カエルと アヒルの ふたりが みえるよね） そいつの 「ゆうざい」「むざい」 どっちかに きめるってわけ。

さあて これから おはなしするのは、 アリスに なにが おこったか。

でね アリスも はこがたの ぎせきの そばに すわってて。 まのあたりにしたひと ってことで よばれたんだ。 まのあたりって なんのことか わかる？ わるいひとが、 おさばきされるようなことを した、 そのげんばを みたってことなんだ。 べつに ただ このおさばきで だいじなことを しってるだけでも いいんだけど。

ところが アリスは クイーンが タルトを つくるところなんて みてないし、

ジャックが タルトを たべるところも みてない。ほんとのところ、なあんにも しらない。なのに いったい どうして よびだされたのか。そんなの ぼくにも わからない！

とにかく みんなが よびたがってね。で しろウサギが おおきな ラッパを ふいて、「アリス！」って おおごえ だして。で アリスは おおあわてで たちあがって それから ——

それから なにが おこったと おもう？ うん、スカートが はこがたの ぎせきに ひっかかって、ぎせきが ひっくりかえって、さらに はなしあうひとたちも かわいそうに そこから おっこちちゃって！

12にん ぜんいん わかるか やってみようね。ほら、おさばきを はなしあうひとの かずは 12のはずだから。ええと、カエル、ヤマネ、クマネズミに イタチ、ハリネズミに トカゲ、チャボ、モグラ、アヒルに リス、で モグラの うしろに ながい くちばしの わめいてる とりが いるね。

でも まだ 11。あと もう ひとり みつけないと。

あっ ちいさな しろい あたまが モグラの うしろから でてる。ちょうど アヒルの くちばしの した？ とにかく これで 12。

さしえを かいたひとに よると うるさい とりさんは コウノトリの ひなで（もちろん わかったよね？）、ちいさい しろあたまは ハツカネズミの こどもなんだって。かわいい どうぶつじゃ なあい？

アリスは みんなを そろりそろり ひろいあげてね。あんまり けがしてないといいんだけど！



あらあら これは！ いったい どういうこと？ アリスに なにが あったんだ？
 さて それを これから できるかぎり おはなしするね。これは おさばきが
 おひらきに なったところ。キングが 12にんに ハートの ジャックの ゆうぎ
 い むざいを きめろと 言ってね —— つまり タルトを ぬすんだのは そいつ
 なのか、ほかの やつが たべたのか きめるって ことなんだけどね。

でも いじわるな クイーンは とにかく おし
 おきするって さきに きめたくって。こんなの
 ただしくないよね？ だって ほら、タルトを
 ぬすんでないんだったら もちろん おしおきな
 んか だめだし。おしおきを うけるにしても
 じぶんの やったことにじゃないと、ね？

だから アリスは いったんだ。「がらくたの
 からっぽ！」

すると クイーンは こういう。「こやつの く
 びを はねよ！」（これは おこったときの おき
 まりの ことばだったね。）

で アリスの へんじ。「あんたたちなんか こ
 わくない！ ただの トランプじゃないの！」



となると みんな
 ぶんすかするわ
 けで。ちゅうに
 とびあがって アリ
 スのうえへ みんな

して ふりかかってきまして。まるで ざあざあ に
 わかあめみたいに。

つぎに どうなったかなんて おもいも よらないよ。そのつぎはね、アリスが
 このへんてこな ゆめから めが さめたんだ。きづいたら トランプは ただ
 きから おちてくる はっぱに なってて、かぜが びゅーんて かおのほうへ ふ
 きおろしてきててね。



ア

リスみたいに へんてこな ゆめ みられたら、 すてきじゃなあい？

いちばん いい やりかたは こう。 まず きのしたで ねそべってね、 じっと
まったあと ついに しろウサギが とけいを てに はしってきたら そこで め
をとじて、 あとは アリスちゃんに なったつもりで。

さようなら、 いとしい アリス、 さようなら！



(おしまい)

Original Credit

The Original Text: *The Nursery "Alice"* (1890)

The Original Author: Lewis Carroll (1832-98)

えほんのアリス

<http://p.booklog.jp/book/36858>

著者：ルイス・キャロル

訳者：大久保ゆう

絵：柊なつの

※この翻訳は「クリエイティブ・コモンズ 表示 2.1 日本 ライセンス」
(<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>) によって公開されています。
上記のライセンスに従って、訳者に断りなく自由に利用・複製・再配布することができます。

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/36858>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/36858>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.